

令和6年度
教育課程特例校における特別の教育課程
【実施状況報告】

池田市立 池田小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特例認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

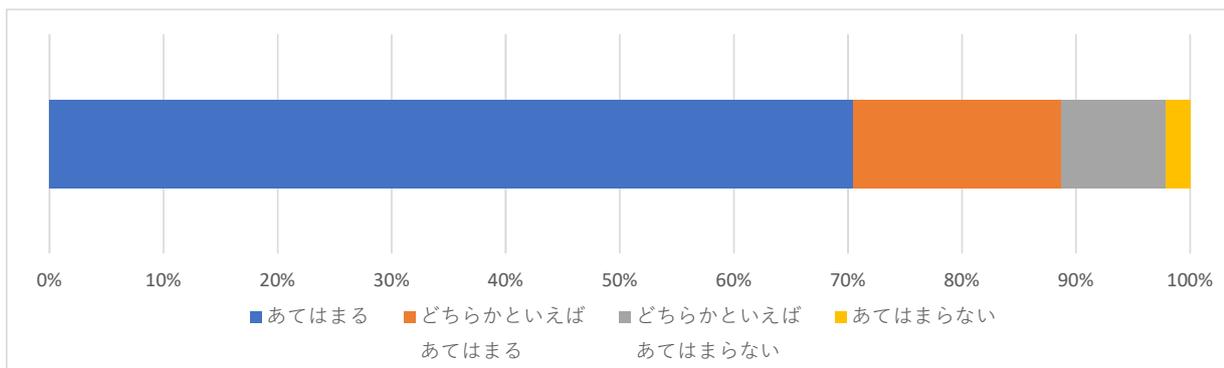
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

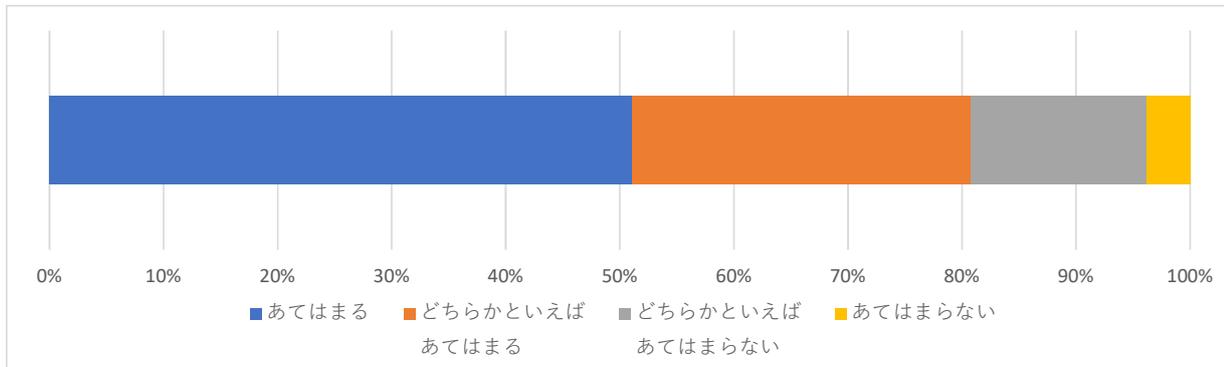
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	68	13	13	3
2年生	63	21	4	1
合計	131	34	17	4



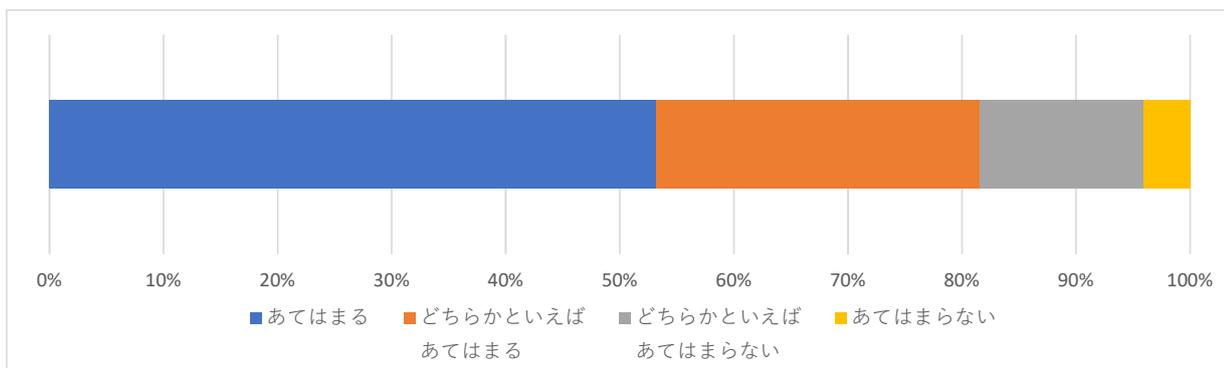
② 英語の授業はよくわかる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	46	32	14	3
2年生	47	22	14	4
合計	93	54	28	7



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

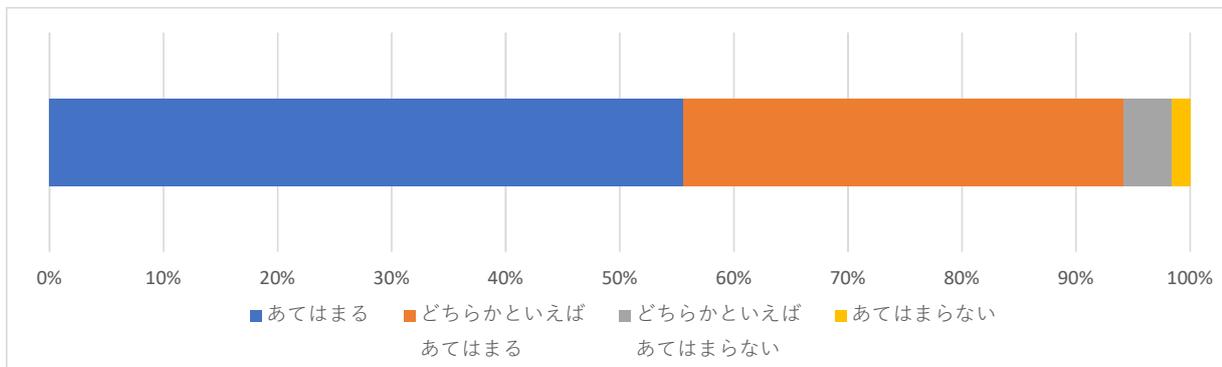
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	50	30	13	2
2年生	42	19	12	5
合計	92	49	25	7



3. 保護者アンケートの結果

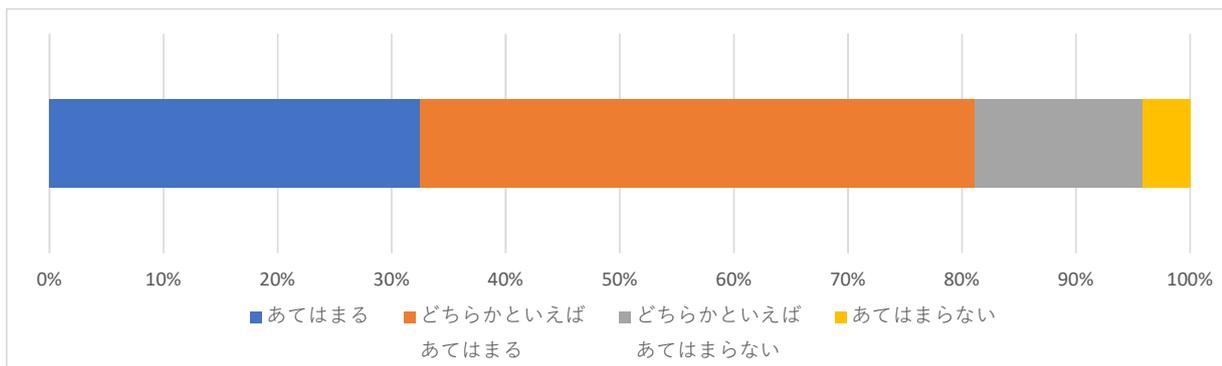
① お子さんは英語活動を楽しんでいますか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	105	73	8	3



② 英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	62	93	28	8



4. 学校関係者からの意見

- ・今後、より英語が重要視されていくことが予想される。低学年から英語に触れ、継続したカリキュラムを実施することで子どもたちの英語力が向上することを期待している。英語での異学年交流により、英語をアウトプットする機会を設定しているところが評価できる。
- ・簡単なあいさつや歌に合わせて英語に触れたりすることで子どもたちが楽しく入門期の英語学習にスタートができるので、継続してほしい。
- ・家でも英語の学習について話したり、簡単な英語を使ってコミュニケーションを取ろうとするなど、英語に親しんでいる様子が伝わる。
- ・低学年から英語に触れる機会があることで、中学年の外国語活動、高学年での英語科につながり、子どもたちが系統的に英語に親しみを持って、継続的に学習できるところが素晴らしい。

5. 今後に向けて

- ・年間カリキュラムを確認・修正しながら、低学年の発達段階に合わせた英語の導入の仕方を考え、中学年の外国語活動、高学年の英語科にスムーズに連結したい。
- ・6年生のGTECの結果を参考に、本校の傾向を分析し、低学年から中学年、高学年へのつながりを意識した指導を継続していく。
- ・低学年の英語活動は児童の「学びに向かう力・人間性等」を大切にカリキュラムを組んでいる。英語を活用する機会を積極的に設定し、表現する楽しさを味わわせていきたい。